

第197回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年8月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,714	0.84	0.03	4,126	1.32	0.02
東部地区	14,434	0.02	0.00	5,750	-0.06	-0.10
西部地区	10,558	-0.54	0.00	3,997	-0.24	-0.12
駅南地区	6,403	1.74	0.03	2,778	3.11	-0.17
半田地区	3,680	1.32	0.38	1,400	2.04	0.50
横山地区	5,696	0.35	-0.12	1,957	2.89	-0.05
茨目・田尻地区	7,008	0.18	-0.05	2,408	1.30	-0.08
荒浜地区	5,087	0.07	-0.01	2,029	-0.34	0.04
その他地区	19,992	-1.94	-0.17	7,183	-0.01	0.05
西山町地区	6,155	-0.80	-0.29	2,155	0.88	-0.04
高柳町地区	1,785	-1.97	-0.27	816	-0.85	-0.24
柏崎市計	90,512	-0.28	-0.05	34,599	0.70	-0.02
刈羽村	4,863	-0.12	-0.06	1,571	-0.25	-0.06
小国地区（長岡市）	6,094	-1.19	0.08	2,135	0.99	-0.04
出雲崎町	5,002	-1.70	-0.05	1,802	-0.27	-0.16
合計	106,471	-0.40	-0.04	40,107	0.63	-0.03

（資料出所：柏崎市、各市町村）

平成24年7月から世帯数・人口について外国人住民を含んだ数を掲載しております。対前年同月比は平成25年6月分まで、外国人を含まない数との対比となっております。前年同月比では柏崎市で261人、0.28％、刈羽村で6人、0.12％、小国地区（長岡市）で74人、1.19％、出雲崎町で87人、1.70％とそれぞれ減少し、全体では428人、0.40％の減少となっている。また、前月比においては、小国地区で5人、0.08％増加しているが、柏崎市で52人、0.05％、刈羽村で3人、0.06％出雲崎町で3人、0.05％減少しており、全体では53人、0.04％減少している。一方、世帯数は、前年同月比では刈羽村で4世帯、0.25％、出雲崎町で5世帯、0.27％減少したが、柏崎市で242世帯、0.70％、小国地区で21世帯、0.99％増加したことから、全体では254世帯、0.63％の増加となった。また、前月比においては、柏崎市で9世帯、0.02％、刈羽村で1世帯、0.06％、小国地区で1世帯、0.04％、※出雲崎町で3世帯0.16％減少した結果、全体では14世帯、0.03％減少している。

（※出雲崎町の前月分世帯数1,814は誤りのため1,805に訂正）

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,296		5.53		-5.47	
月間有効求職者	1,881		-12.26		-3.53	
月間有効求人倍率	0.69	0.83	0.12*	0.17*	-0.01*	-0.02*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,296人と前年同月比で68人、5.53％の増加となり、前月比では75人、5.47％減少している。

月間有効求職者数は、1,881人と前年同月比で263人、12.26％減少し、前月比では69人、3.53％減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.69倍と前年同月比で0.12ポイント、上回っているが、前月比では0.01ポイント下回っている。なお、県平均0.83倍と比べると0.14ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が485人と前年同月比で70人、12.62％の減少、月間新規求職者数が499人と前年同月比で95人、16.00％減少した結果、月間新規求人倍率は0.97倍となり、前年同月の0.93倍に比べて0.04ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成24年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	37	-13	-2	174	-15
共 同 住 宅	0	-9	-2	17	3
事 務 所	0	-1	0	3	-1
作 業 所・工 場	2	-1	2	4	-6
営 業 建 物	1	-3	-2	9	-5
公 共 建 物	1	0	1	2	1
そ の 他	8	3	-2	73	26
合 計	49	-24	-5	282	3

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が49件と前年同月比で24件減少し、前月比では5件の減少となっている。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比で13件の減少となり前月比でも2件減少している。共同住宅は前年同月比で9件減少し、前月比でも2件減少している。なお、工種全体の申請内容は、新築が38件となっており、また一般住宅(併用)37件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が17件(うち新築12件)、市外施工業者が20件(うち新築19件)となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,400	-0.16	-0.05	18,798	2.74	22.19
電 力	10,341	-2.75	-0.03	43,143	2.12	4.86

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で111口、0.16%減少し、前月比でも、38口、0.05%減少している。一方、電力においては、前年同月比で293口、2.75%減少し、前月比でも4口、0.03%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で503kwh、2.74%増加し、前月比でも、3,414kwh、2.19%と大幅に増加している。一方、電力においては、前年同月比で897kwh、2.12%増加し、前月比でも、2,002kwh、4.86%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	641,964	1.57	-22.11	753,895	-1.61	11.79
営 業 用	259,361	10.73	19.36	142,203	-0.90	22.19
工 場 用	728,740	-11.78	-9.20	128,283	-10.39	-6.69
官 公 学 校 用	446,287	3.58	37.65	103,854	-3.98	16.54
そ の 他				72	-59.77	-51.67
合 計	2,076,352	-2.20	-4.24	1,128,307	-2.83	10.89

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で46,807m³、2.20%減少し、前月比でも92,017m³、4.24%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比で、工場用で減少しており、前月比では家庭用、工場用で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で32,937m³、2.83%の減少となり、前月比では、110,844m³、10.89%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、すべての用途で減少しており前月比では工場用、その他で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	103,152	2.59	-1.71	107,536	2.69	-2.71
西 山	55,183	10.11	17.80	54,847	9.70	23.49
米 山	34,171	12.64	25.43	32,156	11.04	26.63
合 計	192,506	6.35	7.52	194,539	5.92	7.87

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で11,510台、6.35%増加しており、前月比でも13,476台、7.52%増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で10,878台、5.92%増加し、前月比で14,195台、7.87%の増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比で、入口・出口ともにすべてのインターで増加しているが、前月比では、柏崎インターのみ入り口・出口で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	358,482	0.42	-0.29	145,363	-1.80	-0.41
平 残	360,808	-0.12	-1.47	145,386	-1.64	0.10

預金は、末残が前年同月比で1,506百万円、0.42%増加したが、前月比では、1,063百万円、0.29%減少している。また、平残においては、前年同月比で468百万円、0.12%減少し、前月比でも5,409百万円、1.47%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,676百万円、1.80%の減少となり、前月比でも606百万円、0.41%減少している。平残においては、前年同月比で2,425百万円、1.64%減少しているが、前月比では、148百万円、0.10%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	26,869	-15.88	-18.76
交 換 金 額	20,006	-20.34	-21.40
不 渡 り 手 形 枚 数	38	533.33	22.58
不 渡 り 手 形 金 額	25	526.58	115.70

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で5,075枚、15.88%減少し、前月比でも6,207枚、18.76%減少している。また、交換金額においては前年同月比で5,108百万円、20.34%減少しており、前月比でも5,449百万円、21.40%減少している。なお、不渡手形は38枚、25百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、1件（前年同月7件、前月10件）、負債総額2億円（同62億円、同17億円）となっており、地区別では佐渡市で1件で建設業となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で6件の減少となり、負債総額は60億円の減少となっている。前月比では件数は9件減少し、負債総額は15億円減少している。倒産件数、負債総額ともに前月比大幅減となり2012年で最小となった。また、負債額10億円以上の大型倒産は6ヶ月連続で発生していない。

円高、政局不安、各種政府補助金終了による反動減などに電機業界の不振が重なり景気動向は先行き不透明な状態が続いている。県内倒産は、今月減少となったがアジア経済の後退など内外需ともに落ち込む懸念があり、引き続き倒産動向に注意を払っていく必要がある。